

「人は人なか 木は木なか」

校長 村上俊一

朝夕の風にさわやかな秋を感じる
中秋の季節を迎えました。子ども達
は、実りの秋を迎えるべく、学習に
運動に励んでいます。

以前、次のような文を読んだこと
があります。「樹齢何千年の屋久杉
も、一本だけで立っていたのではこ
れほど長生きは出来なかった。針葉
樹や広葉樹が雑多に混じった木の中
で、適度な湿度・温度・風など自然
の調和の中で育つのだ。周りが切り
倒され周囲の環境が変化すると、一
本立ち・二本立ちの木はやがて枯れ
ていく。木は、木の中にあってこそ
生き生きと育つのだ」と。

人もまた然りです。仲間や友達と
共に学ぶなかで、お互いのよさに学
んだり、自分のよさを発揮したりす
ることができるとです。人間もまた
人間によって磨かれて人間らしくな
っていくものだということですが、

一人一人のがんばりや成長は、周
りの仲間の中で競い合い励まし合っ
てこそ成し遂げられるものです。

十月八日には、公開授業・授業参
観を行います。仲間のなかで大きく
成長している一人一人の子どもの姿
を是非ご覧ください。